

本会・他学会水環境関連行事一覧

開催期日	行事	開催地	案内記事 掲載巻号
2025年			
5月 8日(木)	米国の先進事例から学ぶ水道における PFAS 処理とリスク管理	東京, オンライン	本号
27日(火)	第37回環境工学連合講演会 「先進サステナブル社会における環境工学の役割」	東京	本号
6月 21日(土)	第3回 環境技術学会技術セミナー 「PFAS問題－基礎から研究最前線まで」	京都, オンライン	本号
24日(火)	第45回通常総会	東京	本号
25日(水)～26日(木)	第30回地下水・土壌汚染とその防止対策に関する研究集会	京都	本号
7月 5日(土)～6日(日)	WET2025 (Water and Environment Technology Conference 2025)	新潟	本号
21日(月)～25日(金)	第20回世界湖沼会議 (WLC20) 湖沼の声：統合的流域管理をめざして	オーストラリア	本号
9月 10日(水)～12日(金)	12 th IWA Symposium on Waste Management Problems in Agro-Industries AGRO'2025	トルコ	本号
17日(水)～19日(金)	第28回日本水環境学会シンポジウム	富山	
29日(月)～ 10月3日(金)	10 th IWA-ASPIRE Conference	ニュージーランド	本号
2026年			
3月 9日(月)～11日(水)	第60回日本水環境学会年会	東京	

会員登録データ変更の届け出について（お願い）

住所、所属変更等、本会に登録されているデータに変更のあった場合には、ホームページの会員専用ページ (<https://www.jswe.or.jp/member/>) よりご登録の変更をお願い申し上げます。メールアドレスの登録がない方、登録アドレスを忘れた方は、メール (member@jswe.or.jp (@は半角)) または Fax にてお問い合わせください。お電話での変更のご連絡は受け付けません。会員は年度毎 (4月→3月) の扱いで、退会のお手続きがない場合には、自動的に会員登録が継続となります。なお、学生会員は年度ごとの資格ですので、2024年度の学生会員は2025年3月末日に失効になりました。

また2013年度より特別正会員制度も新設されています。この制度は、満65歳以上で、水環境関連分野に従事、または関心を有し、本会に対し功労のあった個人を対象とするもので、学会コミュニティにおいて、継続的に知識や経験を活かした活動に取り組んでいただくために設けられたものです。資格要件など詳細は本会WEBサイト (<http://www.jswe.or.jp/joining/index.html>) をご覧ください。

本会関連行事

第45回 通常総会のお知らせ

下記の通り第45回通常総会を開催いたします。会員各位のご参加を賜りますようお願い申し上げます。また、総会にあわせて受賞者講演および特別講演を企画しておりますので、奮ってご参加ください。

学会ホームページの会員専用ページ内の総会出欠登録ページにて、総会への出欠の連絡、議事の委任もしくは議決権行使に関する手続きをお願い申し上げます（総会出欠登録ページ開設期間は5月20日（火）～6月23日（月）午後4時まで）。学会ホームページからのお手続きがどうしても難しい場合には、6月5日（木）までにその旨を氏名および会員番号とともに事務局（電話 03-3632-5351、メール soum@jswe.or.jp（@は半角））へご連絡ください。出欠連絡、委任および議決権行使に関する紙面による回答票をお送りいたします。また、団体正会員の方で総会当日出席者が団体代表者以外の方の場合、代理権を証明する書類のご提出をお願い申し上げます。書式は事務局に用意していますのでお問い合わせください。

この度の総会では第2号議案において定款変更を予定しております。そのため、総正会員の議決権の3分の2以上の多数を集めなければ議決できません。ご出席いただけない場合には、必ず委任もしくは議決権行使の手続きをおとりくださいますようお願い申し上げます。

記

日時 2025年6月24日（火）13:00～17:00
（表彰式、受賞者講演および特別講演を含む）
場所 タワーホール船堀 4階「研修室」
（東京都江戸川区船堀4-1-1 Tel: 03-5676-2211/ 都営地下鉄（新宿線）「船堀」駅徒歩1分）
<https://www.towerhall.jp/access/>

プログラム（予定）:

- 総会（本会正会員のみ）
- 表彰式
- 受賞者講演
- 特別講演（開始予定：16:00）
「上下水道行政の新たな展開」
松原 誠 氏（国土交通省上下水道審議官）
参加費無料

終了後に懇親会を開催する予定です。（会費：6,000円、当日現金受付）

なお、受賞者講演、特別講演には非会員の方の参加（無料）も歓迎いたします。

Water and Environment Technology Conference (WET2025)

日本水環境学会主催の国際会議“Water and Environment Technology Conference”を開催いたします。会議

での発表に合わせて、Journal of Water and Environment Technology (JWET) への論文投稿を受け付けております。詳細は本会ホームページにてご確認ください。

主催 日本水環境学会
期日 2025年7月5日（土）～6日（日）
場所 アオーレ長岡（新潟県長岡市大手通1丁目4番地10）<https://ao-re.jp/>
交通 JR長岡駅から徒歩3分
内容 口頭発表（数分）とポスター発表のハイブリッド発表（現地対面発表のみ）

発表申込方法

発表申し込みは本会ホームページ（URL: <http://www.jswe.or.jp>）からのみ受け付けしています。トップページのWETのバナーより発表申し込みのページにお進みいただき、発表要旨書式をダウンロードして要旨を作成し、必要事項および講演要旨（150語以上200語以内、謝辞を含む。登壇者に下線を引くこと。キーワードおよび図表は不要）を登録してください。1人の登壇者が2つ以上の発表を行うことは認めておりません。申し込み期限は2025年4月24日（木）23:59（JST（日本標準時））、以下の期日はすべて同様です。発表可と判断された場合、その通知を5月15日（木）までにお送りします。なお、講演要旨集には要旨のみが掲載されます（提出された要旨にキーワードや図表が含まれていた場合、要旨集では削除されます）。

論文投稿方法

WET2025発表者のJWETへの論文投稿は、発表受付メールに記載の方法にしたがって2025年5月31日（土）までにWeb上で行ってください。投稿された論文は通常の査読が行われ、2025年7月31日（木）までに1回目の査読結果を通知いたします。著者に起因する重大な遅れがない限り、掲載可否は2025年10月31日（金）までに決定の予定です。なお、論文投稿の有無に関わらず、講演要旨集には要旨のみが掲載されます。要旨集は電子版のみの提供となります。

テーマ

- Environmental analysis
- Toxicology and health concern
- Treatment and recycling
- General subjects in water and environment

表彰

Excellent Poster AwardをWET2025の発表者すべてから、Excellent Paper AwardをJWETへ論文投稿した発表者から選出し表彰します。

参加登録

発表者も参加登録が必要となります。今回より、オンラインシステムを用いた事前参加登録と事前入金です。詳細はWET2025のHPに掲載しております。

参加費

一般	Participant	Speaker
Early-bird	5,500 JPY	5,500 JPY
On site	8,000 JPY	6,000 JPY
学生	Participant	Speaker
Early-bird	3,500 JPY	3,500 JPY
On site	5,000 JPY	4,000 JPY

問い合わせ先

WET 事務局

E-mail : wet @ jswe.or.jp (@は半角)

米国の先進事例から学ぶ 水道におけるPFAS処理とリスク管理

PFASによる水源の汚染が世界的な問題となっ
ています。本セミナーでは、PFAS対策に先
進的に取り組む米国から、ノースカロライ
ナ州立大学のDetlef Knappe教授とオレ
ンジカウンティ水道局のChris Olsen氏
をお招きし、米国におけるPFAS規制の動
向、PFAS処理技術や運用上の課題と対
策についてご講演いただきます。両氏の知
見を通じ、日本国内のPFAS問題解決に
向けた示唆を得る機会となれば幸いです。
(日英同時通訳あり)

主催 日本水環境学会

後援 環境省(予定)、全国環境研協議会

期日 2025年5月8日(木) 14:00~16:45

場所 一橋講堂(東京都千代田区一ツ橋2-1-2)

Zoom ウェビナー併用

定員 会場300名、ウェビナー300名

※予定定員に達し次第、申し込みを終了します。

プログラム

13:30-14:00 開場・受付

14:00-14:05 開会挨拶

14:05-14:20 国内からの話題提供 環境省(予定)

14:20-15:20 講演Ⅰ: State- and federal-level responses
to PFAS in the USA
ノースカロライナ州立大学
Detlef Knappe 教授

15:20-16:20 講演Ⅱ: OCWD response to PFAS
オレンジカウンティ水道局 Chris Olsen 氏

16:20-16:40 質疑応答

16:40-16:45 閉会挨拶

※Zoom ウェビナーでは日英同時通訳をご利用
いただけます(現地参加の方も、ご自身のPC
やモバイル端末とイヤホン等を使用してご利
用可能です)。

参加申し込み方法

以下の登録フォームまたは

QRコードよりお申し込みください。

登録フォーム: <https://forms.gle/HDaMthKWN9eMCED27>

登録QRコード: 右上QRコードから申し込みください。



詳細 URL <https://www.jswe.or.jp/event/seminars/committeeseminar.html>

参加費振込先(振込手数料はご負担ください。)

三菱UFJ銀行 市ヶ谷支店(普通) 0754950

(公社)日本水環境学会セミナー口

シャ)ニホンミズカンキョウガツカイセミナーグチ

申し込み・入金締切 2025年4月21日(月) 厳守

参加費 一般: 会員8,000円, 非会員16,000円

学生: 会員3,000円, 非会員4,000円(税込)

問い合わせ先

(参加申込・入金に関して)

(公社)日本水環境学会 セミナー係

Tel: 03-3632-5351 Fax: 03-3632-5352

E-mail: seminar_info @ jswe.or.jp (@は半角)

URL: <https://www.jswe.or.jp/>

(セミナー内容に関して)

PFAS処理技術研究委員会 事務局(代表幹事 原)

E-mail: hiroeyh @ se.kanazawa-u.ac.jp (@は半角)

第37回 環境工学連合講演会

「先進サステナブル社会における環境工学の役割」

主催 日本学術会議 環境学委員会 環境科学・環境工学分科会

期日 2025年5月27日(火) 10:00~17:30

会場 日本学術会議講堂+オンライン(Zoom ウェビナー)

詳細 <https://www.scj.go.jp/ja/event/2025/381-s-0527.html>

問い合わせ先 (一社)日本機械学会事務局

環境工学連合講演会担当

E-mail: 2025env@jsme.or.jp (@は半角)

第30回 地下水・土壌汚染とその防止対策 に関する研究集会

本研究集会は地下水・土壌汚染の実態・原因・経路の調査から、汚染物質の移動機構の解明、汚染による影響やリスクの評価、汚染の防止対策・修復技術・修復評価、地下水等の自然由来の汚染や放射性物質による汚染、地盤環境に係るカーボンニュートラル・生態系保全等に関する国内最大規模の研究発表会として、地下水・土壌汚染問題の様々な課題について研究成果や事例発表、意見交換、技術交流、情報収集、人材育成や学習の場としての機能を果たして参りました。毎年、100件程度の研究発表や特別講演、企業展示などが行われ、400名を超える方々のご参加をいただいております。

このたび第30回の研究集会を下記のとおり開催することとなりました。本会の土壌地下水汚染研究委員会も協力しています。多くの皆様へ、ご発表やご参加をいただきますようお願い申し上げます。

主催 地盤工学会, 日本地下水学会, 日本水環境学会,
廃棄物資源循環学会, 土壤環境センター

期日 2025年6月25日(水), 26日(木)

場所 京都大学 百周年時計台記念館 (京都市左京区
吉田本町)

内容(予定)

口頭発表とポスター発表とを組み合わせた研究発表,
特別講演, 企業展示, 懇親会

発表/参加申し込み方法

土壤環境センターのホームページから必要事項を入力
してお申し込みください。(http://www.gepc.or.jp/)

事前参加申込締切 2025年5月20日(火)(予定)

参加費 一般: 12,000円(15,000円)

学生: 4,000円(5,000円)

※括弧内は当日受付の場合

詳細URL <http://gepc.or.jp/kenkyu/30th/>

問い合わせ先

第30回地下水・土壤汚染とその防止対策に関する研究
集会事務局 担当: 木下 (kinoshita@gepc.or.jp)

〒102-0083 東京都千代田区麹町4-5 KSビル3階
(一社) 土壤環境センター内

Tel: 03-5215-5955 Fax: 03-5215-5954

※内容は変更になることもありますので, 土壤環境セ
ンターのHPで必ずご確認ください。

IWA 関連行事

12th IWA Symposium on Waste Management Problems in Agro-Industries AGRO'2025

(第12回 IWA 国際シンポジウム:
農産業における廃棄物管理問題- AGRO'2025)

主催 IWA

期日 2025年9月10日(水)~12日(金)

場所 トルコ・イスタンブール

詳しくは下記URLをご参照ください。

詳細URL <https://agro2025.itu.edu.tr/>

問い合わせ先

岡山大学・永禮英明

E-mail: nagare-h@okayama-u.ac.jp

10th IWA-ASPIRE Conference

期日: 2025年9月29日(月)~10月3日(金)

場所: クライストチャーチ, ニュージーランド

詳細URL: <https://www.iwaaspire2025.org/>

他学会関連行事

第3回 環境技術学会技術セミナー 「PFAS問題-基礎から研究最前線まで」のご案内

本セミナーではPFAS研究に長らく関わられてこられ
た先生に基礎から研究最前線までをご講演いただきます。

主催 環境技術学会・京都大学地球環境学堂

土木学会認定 CPD プログラム申請予定

期日 2025年6月21日(土) 13:15~(受付12:30~)

場所 京都大学吉田キャンパス+オンライン

プログラム

13:15~16:30 講演会・総合討論(総合研究5号館)

原田浩二: PFASの毒性・問題の経緯と近年の動向

田中周平: PFASおよび関連指標の分析法と最新研究

藤川陽子: PFASの処理・処分特性と最新研究

総合討論(座長: 西村文武)

16:45~17:15 PFAS分析器具・機器見学(総合研究3
号館)

17:30~19:00 情報交流会(カンフォーラ)

申込期間・URL 2025年3月10日(月)~5月31日(土)

<https://forms.gle/zSxFmVG4sLjVj4Pj7>

参加費 学生1,000円, 会員2,000円, 非会員4,000円で,
交流会は学生4,000円, 一般7,000円

定員 250人(先着順, 会場参加は80名まで)

詳細URL <https://techseminar.livedoor.blog/>

問い合わせ先 seminar_jimukyoku@jriet.net(事務局)

第20回 世界湖沼会議(WLC20) 湖沼の声: 統合的流域管理をめざして

主催 グリフィス大学・(公財)国際湖沼環境委員会

期日 2025年7月21日(月)~25日(金)

場所 オーストラリア・ブリスベンコンベンション&エキシ
ビジョンセンター(Cnr Merivale and Glenelg Streets
South Bank, Brisbane Queensland Australia)

プログラム

全体講演/式典, 各種分科会, ポスター発表, 他サイ
トイベントを予定(より詳しい情報は, 以下詳細URLを
ご参照ください)

申し込み方法 以下詳細URLよりお申し込みください。

参加申込締切 早期登録: 2025年4月25日(金)まで
詳しくは以下詳細URLをご参照ください。

参加費 (一般) 早期: 810AUD, 通常: 995AUD
(学生) 早期: 580AUD, 通常: 795AUD

詳細URL <https://www.wlc20.org>

問い合わせ先

公益財団法人国際湖沼環境委員会(ILEC)

〒525-0001 滋賀県草津市下物町1091番地

Tel: 077-568-4567 Fax: 077-568-4568

E-mail: infoilec@ilec.or.jp



おしらせ

年会優秀発表賞受賞者国際会議発表助成
(クリタ賞国際会議発表助成)
2025年度 候補者の募集

過去の年会優秀発表賞(クリタ賞)受賞者が研究者・技術者として一層の飛躍をするために、本会またはInternational Water Associationが主催または共催する国際会議(日本国内での開催会議も含む)への参加・発表を助成します。

応募資格 本会個人正会員または学生会員(2025年度)で以下の条件を満たす者

- 1) 過去のクリタ賞受賞者
- 2) 年齢が40歳未満(2025年4月1日時点)
- 3) 大学院、教育研究機関、公的機関で実施した研究成果を研究実施機関の在籍者の立場で発表すること

助成内容 会議での参加・発表にともなう費用の一部支援(旅費のみでなく、参加費、ProceedingsやAbstractの英文校閲にかかる費用等も含むことができます)

助成実績(1件当たり) 12.5~17.5万円

対象となる国際会議の期間

2025年7月1日から2026年12月31日

応募方法 助成を希望する本人が、次項の書類を提出すること

提出書類(書式は自由)

- ・応募者の氏名、所属、住所、Tel., Fax., E-mail
- ・大学卒業後の研究・業務略歴
- ・対象とする国際会議の内容が判る資料および申込書(申し込み時点の口頭、ポスター等など発表形式が記されていること、(案)でも可)
- ・発表予定の研究内容を記した書類(日本語でも可、発表申込時のabstractなど)
- ・参加を希望する国際会議における抱負
- ・過去3年の研究等の業績(論文、発表等)
- ・助成を希望する費目とおよその見積もり額を示した文書

応募期日 2025年5月12日(月)

結果通知等 E-mailにより採否を通知予定です。授与式などはありません。

ただし、助成が認められても、当該発表が採択されなかった場合には、その助成の資格を失います。(次年度以降に別の発表について応募することは可能です)

問い合わせ・書類提出先

日本水環境学会 クリタ賞国際会議発表助成 係

Tel: 03-3632-5351

E-mail: kokusai@jswe.or.jp (@は半角)

第44巻(A)11号(2021)特集企画編
「COVID-19タスクフォースの活動成果と
産学官での社会実装に向けた動き」
別刷配布のお知らせ

この度、第44巻(A)11号(2021)の特集企画編「COVID-19タスクフォースの活動成果と産学官での社会実装に向けた動き」の別刷を作成しました。当該企画の趣旨を踏まえて、さらに広くご活用いただくために、教育・公益的な目的でのご利用を希望する方へ別刷を無償配布いたします。

別刷をご希望の方は①会員番号(非会員の方は非会員とご記入ください)②所属③氏名④送付先住所⑤使用目的(具体的に)⑥希望部数を明記のうえ、日本水環境学会事務局まで電子メール(kikaku@jswe.or.jp(@は半角))にてお申込みください。先着順に受け付けます。なお、今後PDF版の公開も予定しています。詳細が決まり次第、ホームページ等でお知らせしますので、ご確認ください。

会員は、特集企画編「COVID-19タスクフォース設立と水環境分野におけるコロナ禍対策」(第43巻(A)12号(2020)特集)、「地環研の躍動」(第43巻(A)2号(2020)特集)、「水環境分野で働く若手たち」(第41巻(A)3号(2018)特集)、「水環境分野で働く女性たち」(第36巻(A)10号(2013)特集)にも残部(若干数)がありますので、ご希望があればご連絡ください。

JST 先端国際共同研究推進事業(ASPIRE)
2025年度日英AI・情報共同研究提案の募集

国立研究開発法人科学技術振興機構(JST)は、日本の科学技術力の維持・向上を図るため、政策上重要な科学技術分野において、国際共同研究を通じて日本と科学技術先進国・地域のトップ研究者同士を結び付け、日本の研究コミュニティにおいて国際頭脳循環を加速することを目的として、先端国際共同研究推進事業(ASPIRE)を実施しています。

この度、英国研究・イノベーション機構(UKRI)傘下の英国工学・物理科学研究評議会(EPSC)と協力し、AI・情報分野において共同研究課題の提案を募集します。詳しくは詳細情報をご覧ください。

詳細情報

https://www.jst.go.jp/aspire/program/announce/announce_aspire2025_uk_ai.html

問い合わせ先 国際部 先端国際共同研究推進室
ASPIRE グループ 日英公募担当
E-mail: aspire-uk@jst.go.jp

JST 戦略的創造研究推進事業 CREST における フランス ANR との日仏共同提案募集

戦略的創造研究推進事業 CREST の 2025 年度募集において、フランス国立研究機構（ANR）と連携し、以下の研究領域で日仏共同提案を募集します。採択された場合、日本側グループは JST（CREST）から、フランス側グループは ANR からそれぞれ支援を受けます。詳しくは詳細情報をご覧ください。

詳細情報

[ANR（近日中更新予定）]

<https://anr.fr/crest-2025/>

[CREST]

<https://www.jst.go.jp/kisoken/boshuu/teian.html>

問い合わせ先 国立研究開発法人科学技術振興機構
戦略研究推進部 [募集専用]
E-mail : rp-info@jst.go.jp

本冊子は「特集企画編」です。「原著論文編」は、国立研究開発法人科学技術振興機構「科学技術情報発信・流通システム (J-STAGE)」に掲載しています。 <https://www.jstage.jst.go.jp/browse/jswe/-char/ja/>